

# 日本共産党 八幡市議団ニュース

2020年7月26日 No.705 発行：日本共産党八幡市議会議員団  
◇TEL075(983)2005 ◇メール jcp-ywta@am.wakwak.com

ホームページは市議  
「JCP八幡市」で検索  
下のQRコード



## 連絡先

山本邦夫(982)8844 ★くらしの相談、お気軽に  
巖 博(982)9663 亀田優子(982)1277  
中村正公(983)8312 澤村純子(983)6275

## コロナ感染

再び

## 急拡大

## 連日、過去最高

東京から首都圏  
さらに全国へ広がり

## 「GO TOトラベル」見送りを

新型コロナウイルスの1日あたりの感染者数(20日時点)は京都府が過去最多の27人になるなど、全国で2万6147人に上りました。1週間で3434人増えました。コロナ感染は東京から首都圏、さらに全国に再拡大の波が広がり始めています。政府の対応は事態の深刻さに見合っておらず、国民の命とくらしを守る立場で、

医療と検査体制、くらしと営業の支援を強めるべきです。

政府が観光対策として進める「GO TOトラベル」は「東京を除外して実施」することになりましたが、迷走を繰り返しています。国民や知事からも、専門家からも実施見直しの声が上がっています。直ちに実施を見送るべきです。

## 感染拡大をどう防ぐか

コロナ感染拡大を防ぎ、くらしや営業への支援を強める方策は?—日本共産党の対策第4弾(ダイジェスト)で紹介します。

### PCR検査の抜本拡充

市中感染が広がっている地域を特定し、住民全体を検査対象にする。院内・施設内感染を防ぐため、医療・介護、障害福祉、保育・教育関係者への検査を行うなどの対策が必要です。大規模な検査で陽性者を発見し、隔離・治療することが感染抑止のカギとなります。

### 補償と一体の休業要請

政府は「GO TOトラベル」で迷走を繰り返しています。根底には、感染防止に必要な休業要請を、補償とセットで行うという立場に立っていないからです。

他の支援策でも、金額が少ない、対象が

## 日本共産党が第4弾

狭い、届くのが遅いという「3弱」対策を転換し、補償と一体となった休業要請に力を入れるべきです。

### 学校の感染予防

緊急に必要なのは、感染拡大地域を中心に全教職員への定期的なPCR検査を実施することです。

子どもたちのマスク着用は、夏で暑くなる時期、過剰な対応はマイナスであることも指摘されています。マスク着用への配慮が必要です。

### 困窮した学生への支援

新型コロナでアルバイトがなくなった学生も休業補償の対象に。休業手当を支払う事業主に払われる雇用調整助成金は、コロナ特例で雇用保険未加入の学生も対象になりました。